

# 米代川流域下水道事業大館処理区

## 終末処理場いよいよ稼働

快適な生活環境の実現と河川などの公共用水域の水質保全のため欠くことのできない下水道現在県が着手している米代川流域下水道事業大館処理区の工事は順調に進み、終末処理場が四月一日から稼働を始めます。今回は、下水道の心臓部といえる終末処理場についてご紹介します。

### 終末処理場は 下水道の心臓部

下水道事業は、県が終末処理場(川口地内)の建設、幹線下水道管



最終沈でん池

などの設置をする「米代川流域下水道事業大館処理区」と、市が幹線下水道管とつながる下水道管などの設置をする「大館市公共下水道事業」の二つが一体となって進められています。

終末処理場は、汚水をきれいな水にして川に流す施設です。ここには、下水道の各施設を集中管理する管理棟のほか、汚水を処理する沈砂池、沈でん池、エアレーションタンクなどが設けられ、下水道の心臓部といえます。平成元年度に本格スタートした終末処理場建設は、管理棟やエアレーションタンクなどの主要施設がほとんど完成。二月下旬の試運

転、四月一日からの本稼働を前に、主要施設の電気計装設備工事の最終仕上げが急ピッチで進められています。

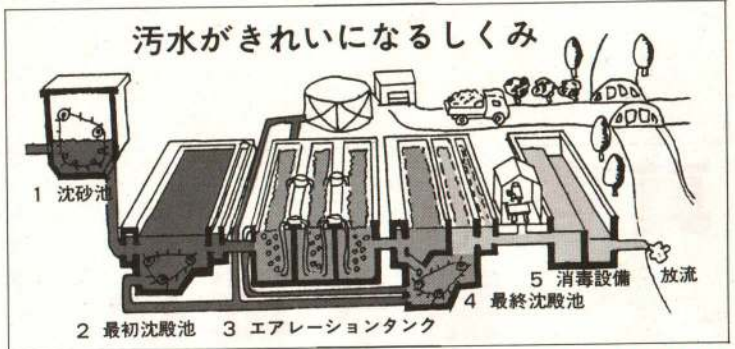
終末処理場の管理、運営は県が行いますが、施設の維持管理業務の一部は、株式会社県北環境保全センターが受託します。この会社は、大館市、鹿角市、比内町、田代町、小坂町の二市三町が出資して設立されます。

### 汚水が きれいになるしくみ

終末処理場に運び込まれた汚水は、次の施設を通して処理されきれいな水になります。

- 1 沈砂池  
汚水の中に含まれている大きなごみや土砂などを取り除きます。
- 2 最初沈でん池  
汚水をゆっくりと流し、浮遊物を沈でんさせて取り除きます。
- 3 エアレーションタンク  
汚水にバクテリア(好気性微生物)の入った活性汚泥を

### 汚水がきれいになるしくみ



混ぜ、空気を送り込みます。バクテリアは、空気の中の酸素の助けを借りて汚れをどんどん食べ、大きなかたまりとなります。

4 最終沈でん池  
エアレーションタンクで大きなかたまりとなった汚泥は、ここで沈められます。

5 消毒設備  
最終沈でん池の上澄み水には大腸菌などの細菌が含まれていますから、ここで塩素滅菌して米代川に流します。

### 長 市 リ ポ ー ト



No.15

若者が定住できる  
まちづくり

毎年三月末になると多くの若者が大館から出ていってしまいます。そのことは、私たちにとても大きな損失です。

市が活力あふれる発展をするためには、若者が地元で定住できるように条件づくりを急いでやっつけていかなければなりません。その方法としては、地元の企業が若者を採用できるように努めてもらうことと、企業の誘致を進めていかなければならないと思います。同時に、地場産業の育成や若者が魅力を感じるまちづくりも進めていかなければならないと思います。

幸い、待望の職業訓練短期大校は平成五年四月に開校が予定され、七年三月からは優秀な人材が生まれてきます。

市では、こうして生まれてくる人材を生かすためにも、企業の誘致を積極的に進めていくとともに、既存の企業と相談しながら、若者の受け入れ体制や定住できる環境づくりなどに努力したいと考えています。

小畑 元